



復興グルメ大会の成果などを話し合うフォーラムの出席者



第1回の復興グルメ大会が開かれ、にぎわい気溢した復興商店街。2013年1月、宮城県気仙沼市

被災地の今発信

被災地の今を発信したい。11日
で3年を迎える東日本大震災で、被災した宮城、岩手、福島県の仮設商店街など10団体の代表ら約20人が2日、岡山市で開かれたフォーラムに集った。国際医療ボランティア・AMDA(本部・同市)が現地で企画した

復興グルメ大会への参加が縁でつながった出席者は、被災地同士や、岡山との絆を確認。発言からは震災に負けず、復興へ前向きに頑張ろうという思いが伝わってきた。(平田桂三)
= 3面に関連記事

宮城など仮設商店街代表ら岡場でフォーラム

仲間と連携 課題吐露

れ、今年1月5日目を迎えた福島県南相馬市では8千人以上が足を運ぶなど、人気が定着してきている。大会は、そうしたにぎわいや経済的な面以外の効果も関係団体にもたらしている。フォーラムの出席者が「喜論。出席者は、みんなが述べた。第6回は4月13日、宮城・高田大隅つどの丘商店街 太田明成さん

「目の前に山積する日本の皆さん。過酷な震災を経験した皆さんの言葉。それが貴重な助言となつた。フォーラムをきっかけに、そういったネットワークをつくりたい」とも関係団体にもたらしている。フォーラムの出席者が「喜論。出席者は、みんなが述べた。第6回は4月13日、宮城・高田大隅つどの丘商店街 太田明成さん

「失いかけていた自信。現在の状況を伝えていくと、地元の復興を応援したい。」「失いかけていた自信。現在の状況を伝えていくと、地元の復興を応援したい。」「失いかけていた自信。現在の状況を伝えていくと、地元の復興を応援したい。」

「失いかけていた自信。現在の状況を伝えていくと、地元の復興を応援したい。」「失いかけていた自信。現在の状況を伝えていくと、地元の復興を応援したい。」

宮城・気仙沼復興商店街 坂本正人さん

商店街再興という同じ目標を持つ者同士が仲間になれたのが、この大会。本格的な運営再開に向け困難はあるが、仲間の教えや力を励みに頑張りたい。



宮城・高田大隅つどの丘商店街 太田明成さん

次の災害を想定し、このネットワークが被災地をどう支援できるか、今から考えておくことが不可欠だ。実行に移せるよう、横のつながりを深めたい。



宮城・おがつ店こ屋街 上山政彦さん

お客さんや仲間との交流が楽しい。出場後は、連方から自慢のカレーを食べに来てくれる人が増えた。外への発信が欠かせないと実感している。



宮城・南三陸さんさん商店街 阿部忠彦さん

人口流出などの悩みはあるが、経済産業省の「がんばる商店街30選」に選ばれるなど明るい話題もある。活動を加速させ、復興の弾みにしたい。



宮城・おしかのれん街 石森政成さん

海に近い商店街だが、仮設住宅は高台にあり、高齢者も多いため、客足確保が課題だ。一方、大会への参加で、地元も盛り上がりそうと頑張っている。



交流楽しい/復興の弾みに/前へ進む姿見て/自信取り戻せた

宮城・石巻まちなか復興マルシェ 五井悟さん

大会は被災地の皆が食を通して地域を発信する場。同じ痛みを経験した仲間と前へと進む姿を見てほしい。岡山が被災地になったら必ず支援する。



宮城・七の市商店街 岩本喜治さん

日本で2番目に小さな町だが、夢を持って商店街を運営している。4月には大会を開催予定。できる限りの準備で皆さんをお迎えしたい。



岩手・福幸きらり商店街 山崎繁さん

被災した小学校跡で商店街を開いて頑張っている。初回から参加している大会を、いつか皆さんを招いて開けるよう前へ進んでいきたい。



岩手・チーム大槌 岩間敬子さん

独自のフードコンテストを開き、本大会に出品できるものを考えている。参加のために、皆さんに応援してもらっていることが分かってくれたい。



福島・TEAM南相馬 高橋秀典さん

原発事故の風評被害で農産物などの安全性に疑いを持たれたのが痛かったが、大会で多くの人に認めてもらい、自信を取り戻すことができた。

